

第一章 図書館史から見える女性と図書館 1

はじめに 2

1 図書館を利用する女性たち 5

(1) 婦人閲覧室の存在と位置づけ 5

(2) 婦人閲覧室についての実態調査 28

(3) 女性の利用状況 45

(4) 女性に提供された資料とされなかった資料 64

2 婦人閲覧室があつた時代の図書館で働く女性たち 87

(1) 女性の職業事情 87

(2) 図書館講習所の開設と女性の受講生 89

(3) 女性図書館員をめぐる意見 93

(4) 図書館で働く女性たち 98

3 現存する婦人閲覧室を訪ねて 106

第二章 男女共同参画センター・ライブラリー 113

1 戦後の図書館と女性 114

(1) 図書館にあふれた母親と子どもたち 117

(2) 子ども文庫活動と図書館活動 119

2 全国的な男女共同参画センター・ライブラリーの成立 123

(1) 明治期からの女性のための施設 124

(2) 女性情報とは 縫田瞳子の提案 125

(3) 東京都婦人情報センター 日比谷図書館で開設 129

(4) 東京都女性情報センター 国連婦人の十年に向けて 131

	3	女性情報を探して	134
	(1)	女性図書館員たちの志と活躍	134
	(2)	女性情報ネットワーク	137
	(3)	国際的なKNOWHOWネットワーク	142
	4	国立女性教育会館(NWEC、又エック)	150
	(1)	国立女性教育会館 女性教育情報センター	150
	(2)	NWECの情報機能	155
	(3)	女性情報ポータルおよびデータベースの整備・充実	162
	(4)	女性アーカイブ機能の充実	167
	(5)	ナショナルセンターとして、機能を高めるための提案	172
	5	男女共同参画センター・ライブラリーの現在	175
	(1)	男女共同参画センターの全国的な展開	175
	(2)	情報事業・ライブラリーの運営	178
	(3)	各地のライブラリーからの発信	181
	6	これからの課題	208
	(1)	女性図書館員とキャリア	208
	(2)	コレクション構築に向けて	220
	(3)	特色ある文庫	225
	第三章 過去・現在・未来をつなぐジェンダー情報 233		
	1	過去 Sharing the Past (過去の事実を共有する)	234
	2	現在 Debating the Present (今を問ふ)	237
	(1)	男女共同参画センター・ライブラリーのコレクションの可視化	237
	(2)	多様な機関と相互連携の在り方を探る	238
	(3)	ライブラリーで働く職員の雇用と研修	239
	3	未来 Creating the Future (未来を拓く)	240
	(1)	NWECの内閣府移管 男女共同参画センターの機能強化	240

(2) 国際的なジェンダー課題の共有 241

(3) デジタル社会に向けて 243

おわりに 244

執筆分担 246

各章ごとの引用文献・参考文献 (258)

索引 (271)